

ODF 2002, Tokyo (3rd International Conference on Optics-Photonics Design & Fabrication)

日本光学会光設計研究グループと SPIE Japan Chapter は光学・フォトンクス設計と製造に関する国際学会 ODF 2002, Tokyo を開催します。

期 日： 2002 年 10 月 30 日～11 月 1 日

場 所： 日本科学未来館（東京都江東区青海）

主 催： 日本光学会（応用物理学会）光設計研究グループ，SPIE Japan Chapter

セッション・シンポジウム：

Plenary Session, Lens Design, Optical Simulations, Diffractive Optical Elements, Active Devices, WDM Waveguides, Optical MEMS, Optical Interconnects, Optical Systems, Optical Disks, Lithography, Poster Session

参加費：

事前申込み（9 月 30 日まで）：会員・一般 30,000 円，学生 8,000 円

10 月 1 日以降申込み：会員・協賛団体会員 33,000 円，一般 35,000 円，学生 8,000 円（追加予稿集 8000 円）

詳細問合せ，資料請求，申込み先：

詳細プログラム，参加申し込みはホームページを参照，もしくは下記へお問合せください。

オリンパス光学工業（株）光学技術部 植田 博文
電話 0426-91-8089 Fax 0426-91-7573

E-mail：h_tsuchida@ot.olympus.co.jp

ホームページ：<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/meet/ODF2002/index.html>

11th International POF Conference

International POF Conference はプラスチック光ファイバー（POF）に関する世界で唯一の国際会議であり，9 月 18 日より，ホテルニューオータニ東京にて開催されます。毎年，日本，アメリカ，ヨーロッパを巡回して開催される本会議では，ブロードバンド，車内 LAN 等に広く応用が期待される POF に焦点をあて，世界各国の第一線の研究者を集めて議論が交わされます。

さらに，今年の会議におきましては，会場と慶應義塾大学とを実際にギガビットネットワークで繋ぎ，GI POF によるギガビットネットワークが可能にするリアルタイムコ

ミュニケーションを実体験していただく，「ギガアイランド構想デモンストレーション」を企画しました。この機会に International POF Conference にご参加いただき，POF ブロードバンドネットワークをご体験ください。

期 日： 2002 年 9 月 18 日（水）～20 日（金）

場 所： ホテルニューオータニ東京（東京都千代田区紀尾井町）

参加費用： 8 月 31 日まで 40,000 円

9 月 1 日以降 45,000 円

主 催： International Cooperative of POF (ICPOF)

代表：小池康博（慶應義塾大学・科学技術振興事業団 ERATO）

共 催： 科学技術振興事業団 ERATO，POF コンソーシアム

協 賛： 応用物理学会，高分子学会，繊維学会，通信・放送機構，電子情報技術産業協会，電子情報通信学会，日本化学会，日本光学会，日本テレワーク協会，光産業技術振興協会，IEEE/LEOS

事務局： 株式会社エヌティーエス

E-mail: pof@nts-book.co.jp

基調講演：

シスコシステムズ (USA) Vice President

G. D. Khoe 教授 (Eindhoven 工科大，オランダ)

村井 純教授 (慶應義塾大学)

詳細は，ホームページをご覧ください。

<http://www.pof-con.org/conference02>

第 85 回微小光学研究会

テーマ： 光メモリと微小光学

日 時： 2002 年 9 月 6 日（水） 10:30～17:00

場 所： 東工大すずかけ台キャンパス総合研究館大会議室（横浜市緑区長津田町 4259）

交 通： 東急田園都市線 すずかけ台駅下車 徒歩 8 分

主 催： 応用物理学会日本光学会微小光学研究グループ
プログラム：

1. 大容量光ストレージの将来展望

横森 清（リコー）

2. NA=0.85 単玉対物レンズ

糸長 誠（日本ビクター）

3. 青色/DVD/CD 互換光ヘッド

片山龍一（NEC）

4. 近接場光記録用の集光系と半回転放物面型ソリッドイマージョンミラーの作製
上柳喜一 (富士ゼロックス)
5. 近接場マスク露光—微小光学素子作製への応用可能性—
黒田 亮 (キヤノン)
6. ナノ光メモリ媒体
内藤勝之 (東芝)
7. 2光子吸収を用いた三次元多層光メモリ
川田善正 (静岡大)
8. 多値記録再生技術による光ディスクの高密度化
林 英樹 (パイオニア)
9. 赤レーザーを用いた2インチ3GB光磁気ディスク
尾留川正博 (松下)
10. 偏光コリニアホログラフイー
堀米秀嘉 (オプトウエア)

その他の講演を予定。

参加費： 一般 4000 円，学生 1000 円 (資料代を含む)

当日ご持参ください。

参加申込み： 不要 (直接会場にお越しください)

問合せ先： コニカ株式会社 森 伸芳

電話 0426-60-9315 Fax 0426-60-9325

E-mail: n.mori@konica.co.jp

詳細の会場案内、プログラムは、微小光学研究グループのホームページ (<http://www.din.or.jp/microopt/>) でもご覧いただけます。

第 30 回光波センシング技術研究会論文募集

メインテーマ： 超短光パルスが拓く新たな光技術

主 催： 応用物理学会・光波センシング技術研究会

期 日： 2002 年 12 月 19 日 (木)，20 日 (金)

場 所： 工学院大学 (東京都新宿区西新宿 1-24-2)

第 30 回研究会は、「超短光パルスと光センシングへの応用」というテーマを取り上げます。きわめて短時間幅の光パルスの利用は、フェムト秒チタンサファイアレーザーが市販されるようになり、身近なものになりつつあります。超短パルスを利用した超高速の時間領域の計測や、超短パルスレーザーの縦モード周波数の超安定性に基づく干渉法による距離測定などセンシング技術への応用が広がってきております。また、フェムト秒パルスは、数 100 THz の超広帯域の利得を有し、広い波長域を用いる光 CT 計測や超高速波長多重光通信への応用が期待されます。加工、光造形分野では、材料熱拡散速度に比べ超高速にエネルギーを注入でき、加工精度が向上し、多光子吸収によりバン

ドギャップの大きな材料に適用できるようになってきております。本講演会は、第一線で活躍されている研究者に最新の研究成果をご紹介します。これに加えて、光センシングの基礎、材料、デバイス、光計測領域の発表を併せて募集いたしますので、ぜひご投稿くださいますようお願い申し上げます。

講演申込み方法：

アブストラクトを下記事務局まで、A4 判 1~2 頁を郵送/Fax、または 1000 文字以内を e-mail で送る。発表者名、共著者名、連絡先 (住所、電話/Fax、E-mail) を記入。

申込み締切： 10 月 1 日 (金) 必着

原稿締切： 11 月 27 日 (水) 必着、カメラレディー原稿 A4 判 6~8 頁。

参加費： 11,000 円 (論文集含む)

問合せ先・事務局： 〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-17-42 (302) 連企画気付 光波センシング技術研究会事務局 福井峯朗 電話/Fax 03-3391-9587

E-mail: fukui@poem.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://jsap.or.jp/obutsu/branch/group.html>

第 1 回情報フォトニクス研究グループ研究会 (秋合宿)

テーマ： 改革の時代に：サバイバル情報フォトニクス

光コンピューティング研究グループは、2002 年春から情報フォトニクス研究グループとして新たな再出発をしております。新しい研究グループの中には、4 つのワーキンググループ (WG) が設置され、情報光学分野における新しい展開の可能性を、異なったアプローチにより並列的に探っていくことをめざしております。各 WG 内での深い議論を実現するとともに、WG 間のさまざまな立場からの意見交換を行い、有機的なつながりをもってこの大きな目標に向かっていきます。今回、各 WG 間の意見交換の場として、かつ、他分野の方々と積極的な交流をする場として、秋合宿を行うこととなりました。研究グループ会員の皆様、本研究グループの活動内容に興味をおもちの皆様の積極的なご参加をお願いします。

日 時： 2002 年 10 月 19 日 (土) 13:30 より

20 日 (日) 正午まで

場 所： 高野山最大の宿坊、福智院

主 催： 日本光学会 (応用物理学会) 情報フォトニクス研究グループ

講演者リスト：

ノベルフォトリックシステム WG

野村孝徳 (和歌山大), 吉川宣一 (武蔵工大),
早崎芳夫 (徳島大)

VLSI フォトニクス WG

太田 淳 (奈良先端大), 武内喜則 (キノテック),
成瀬 誠 (通総研)

3次元情報フォトリック WG

高木康博 (東京農工大), 山本裕紹 (徳島大),
栗辻安浩 (京都工芸繊維大), 的場 修 (東京大)

ライフフォトリック WG

谷田 純 (大阪大), 津村徳道 (千葉大),
安永守利 (筑波大)

題目の詳細は下記ホームページをご覧ください。

参加費 (宿泊費・資料代含む) :

一般 20,000 円, 学生 12,000 円 (現地払い)

申込み締切: 9月6日 (金)

定員: 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

詳細ホームページ: <http://www.icsd6.tj.chiba-u.ac.jp/~tsumura/infophotonics/index.htm>

秋合宿幹事:

津村徳道 (千葉大), 野村孝徳 (和歌山大), 谷田 純 (大阪大)

問合せ先: 千葉大学 津村徳道

電話 043-290-3262

E-mail: tsumura@ics.tj.chiba-u.ac.jp

訂正とお詫び

「光学」第31巻第7号「高精度測定のための点回折干渉計」(pp. 538-544)において図2(b)中の“Test optics”と“Test beam”が入れかわっておりました。訂正してお詫び申し上げます。

日本光学会 *news* の掲載申込み先:

〒321-3298 宇都宮市清原工業団地 23-10 キヤノン株式会社光学技術研究所レンズ開発センター
レンズ第1技術開発室 中井武彦 電話 028-667-5711 Fax 028-667-9486 E-mail: nakai.takehiko@canon.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成14年度幹事(*常任幹事)

幹事長:	山本 公明* (オリンパス)	
副幹事長:	黒川 隆志* (農工大)	中島 啓幾 (早大)
前幹事長:	岩田 耕一 (大阪府大)	
庶務幹事:	塩川 孝紳* (旭光学)	川田 善正* (静岡大)
	大瀧 達朗* (ニコン)	田中 賢一* (明治大)
	竹ノ内弘和* (NTT)	塚田 由紀* (交通公害研)
	中井 武彦* (キャノン)	平井亜紀子* (産総研)
『光学』編集幹事:	岩井 俊昭* (北大)	三尾 典克 (東大)
	加藤 純一 (理研)	谷田 純 (阪大)
『OR』編集・出版幹事:	一岡 芳樹* (奈良高専)	豊岡 了 (埼玉大)
国際協力幹事:	山口 一郎 (理研)	石井 行弘 (能開大)
	大坪 順次 (静岡大)	
将来問題担当幹事:	志村 努 (東大)	岡 和彦 (北大)
企画・事業担当幹事:	黒川 隆志 (農工大)	梅田 倫弘 (農工大)
	野崎 昭俊 (コニカ)	仁科喜一郎 (リコー)
	木村 茂治 (日立)	篠原浩一郎 (富士ゼロックス)
	岩瀬扶佐子 (古河電工)	太田 淳 (奈良先端大)
	志村 啓 (日立ハイテクノロジーズ)	金子 寛彦 (東工大)
	相津 佳永 (室蘭工大)	佐藤 学 (山形大)
	野村 俊 (富山県立大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	庄司 一郎 (分子研)	西 壽巳 (大阪工業大)
	早崎 芳夫 (徳島大)	光永 正治 (熊本大)

OPTICAL REVIEW 編集部 移転のご案内

OPTICAL REVIEW 誌の編集部は2002年1月1日より物理系学術誌刊行協会 (IPAP) に移転しました。原稿の投稿および論文状況などのお問合せは下記にお願いいたします。

物理系学術誌刊行協会 (IPAP) OPTICAL REVIEW 編集部

〒105-0004 東京都港区新橋6-9-6 12 東洋海事ビル8階

電話: 03-3432-4308 Fax: 03-3432-0728 E-mail: optrev@ipap.jp

URL: <http://www.ipap.jp/>